別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（国際感染症学院感染症学専攻）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	備考
必修科目	感染症学特別研究Ⅰ	1～2通	8				○		9	7	3	6		
	感染症学特別演習	1～4通	2				○		9	7	3	6		
	アカデミックイングリッシュ	1前	2				○		1					兼2 共同
	研究倫理演習	1前	1				○		4		1			兼2 ※講義 オムニバス，共同(一部)
	人獣共通感染症対策専門特論	2前	5			○			9	2	1	1		兼3 ※演習，実習 オムニバス
	小計（5科目）	－	18			－			9	7	4	6	0	兼6
選択必修科目	感染症学特別研究ⅡA	3～4通		8			○		9	6	2	3		
	感染症学特別研究ⅡB	3～4通		8			○		9	6	2	3		
	海外インターンシップA	3～4通		2				○	6					共同
	海外インターンシップB	3～4通		2				○	6					共同
	小計（4科目）	－		20		－			9	6	2	3	0	
選択科目 獣医科学・感染症学基礎科目	生物統計学特論	1前		1		○				1		1		兼1 ※演習 オムニバス，共同(一部)
	研究機器演習	1前		1			○		1	2	1	1		兼3 オムニバス，共同(一部)
	情報科学特論	1前		1		○			1	1		1		兼1 ※演習 オムニバス
	免疫学特論	1後		1		○			1	1		1		※演習 オムニバス，共同(一部)
	寄生虫学特論	1後		1		○						1		兼1 ※演習 オムニバス，共同(一部)
	獣医公衆衛生学特論	1後		1		○			1	1				オムニバス
	微生物学特論	1後		1		○			3	2				※演習 オムニバス
	獣医衛生学特論	1後		1		○			1		1	1		※演習 共同
国際感染症学コア科目Ⅰ	病原体ゲノム解析学特論	2前		1		○				2				※演習 オムニバス
	人獣共通感染症制御学特論	2前		1		○			4	3	2			オムニバス
	生体防御学特論	2前		1		○			1					兼3 ※演習 オムニバス
国際感染症学コア科目ⅡA	リスク分析学特論	2後		1		○			1			1		※演習 オムニバス
	国際保健衛生演習	2後		1			○		1					※講義
	感染症数理生物学特論	2後		1		○			1			1		オムニバス
国際感染症学コア科目ⅡB	感染病理学特論	2後		1		○			1		1			オムニバス
	越境性感染症学特論	2後		1		○			1	1	1			※演習 オムニバス，共同(一部)
	製剤開発特論	2後		1		○			1	1				兼1 ※演習 オムニバス
	小計（17科目）	－		17		－			9	7	4	4	0	兼9
合計（26科目）		－	18	37	0	－			9	7	4	6	0	兼14

学位又は称号	博士（感染症学） 博士（獣医学）	学位又は学科の分野	学際領域（獣医学，医学）

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【履修方法】 ・必修科目18単位，選択必修科目から10単位，選択科目から10単位以上を修得し，38単位以上修得すること。 ・博士（感染症学）の学位授与には，選択必修科目のうち「感染症学特別研究ⅡA」および「海外インターンシップA」の修得が必要である。また，選択科目のうち「獣医科学・感染症学基礎科目」から６単位以上，「国際感染症学コア科目Ⅰ」から２単位以上，「国際感染症学コア科目ⅡA」から２単位以上の修得が必要である。 ・博士（獣医学）の学位授与には，選択必修科目のうち「感染症学特別研究ⅡB」および「海外インターンシップB」の修得が必要である。また，選択科目のうち「獣医科学・感染症学基礎科目」から６単位以上，「国際感染症学コア科目Ⅰ」から２単位以上，「国際感染症学コア科目ⅡB」から２単位以上の修得が必要である。 【修了要件】 38単位以上修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査及び試験に合格すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分